

地権者  
関係者  
情報誌

# がじゃんびら通信 第14号

～那覇軍港跡地のまちづくりにおきて～

発行：那覇市総務部那覇軍港総合対策室 協力：那覇軍用地等地主会

## 今年度の活動内容の報告

### 「地権者等の意識醸成」と「次の世代の組織づくり」に向けた取り組みを行いました！

今年度は、全体計画《見直し版》に基づき、全体計画の周知活動や土地活用に関する勉強会の開催、がじゃんびら通信の発行による「地権者等の意識醸成」と、地主の次の世代を対象とする懇談会の開催や先進地視察の実施による「次の世代の組織づくり」に向けた取り組みを行いました。ここでは、その活動概要をご報告いたします。

#### 「地権者等の意識醸成」に向けた取り組み

	開催日	主な内容
説明会	平成26年 2月14日 ～16日	合意形成活動全体計画 《見直し版》の説明会
勉強会	平成26年 3月2日	テーマ 観光動向について 講師 りゅうぎん総合研究所 比嘉 盛樹氏
	平成26年 3月16日	テーマ MICE(マイス)について 講師 株式会社 DMC 沖縄 徳田 博之氏

勉強会  
の様子



#### 「次の世代の組織づくり」に向けた取り組み

	開催日	主な内容
第1回	平成26年 1月23日	次の世代の懇談会
第2回	平成26年 2月21日	「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」との意見交換会
第3回	平成26年 3月1日	ギンバル訓練場跡地の視察
第3回	平成26年 3月16日	那覇軍港内の視察

ギンバル  
訓練場  
跡地視察  
の様子



## ご参加ありがとうございました！

跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えるにあたり、地権者の皆さまに今後の活動内容を知っていただき、取り組みに積極的に参加してもらえよう、合意形成活動全体計画《見直し版》の説明会を開催しました。

お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

参加者からの主なご意見をご紹介します。



### 主な 質疑内容

- Q. 平成18年度の計画と見直し版とはどこが変更になっているのか。
- A. 跡地利用計画の計画づくりに取り組む期間である第2ステージへの移行期間を設けた点である。また、第2ステージへの移行に向けた合意形成活動達成目標を掲げ、5つ目に、国有地を公共用地に充当することの検討を位置づけたことも大きな変更点である。
- Q. 那覇軍港の跡地利用が始まるまで、あとどのくらいかかるのか。
- A. 移設条件付きで2028年度又はその後とされており、早くてもあと15年後である。
- Q. 浦添ふ頭地区への移設が条件と聞いているが、その進捗状況はどうなっているのか。
- A. 浦添ふ頭地区の埋立地に移設することが条件となっており、埋め立てるための環境影響評価を今年度中に始まると聞いている。環境影響評価に5年、埋立て承認に1年、埋立てに9年、手続き等に半年の予定となっている。
- Q. 次世代のことを考えていくことは大事なことであり、良いことだと思う。また、地権者との信頼関係を失わないようにすることも良いことである。
- A. 那覇軍港は地権者にとって貴重な財産であることから、那覇軍港の特性を活かして財産価値を高める方法を地権者の皆様と考えながら跡地利用に向けて取り組みたいと考えている。
- Q. 今の段階で跡地利用について、那覇市としての案があれば示してほしい。
- A. 現時点では、平成7年度に策定した統一案となる。しかし、現状と合わなくなっていると感じており、那覇軍港の特性を踏まえ、一番価値の高まる利用を地権者の皆様と考えていきたい。

第2ステージへの移行に向けた合意形成活動達成目標のひとつである「全体計画の更なる周知」の達成に向け、皆様がより参加しやすい形を検討し、今後も継続して開催していきますので、多数のご参加お待ちしております。

第2ステージへの移行期間における勉強会では、地権者の皆様が返還後の土地活用について、幅広い知識を持って様々な選択肢の中から考えられるようになることを目的とし、まずは、観光立県を目指している沖縄県の「観光動向」と、話題の「MICE（マイス）」をテーマに開催しました。

## 第1回勉強会 観光動向について

第1回勉強会では、りゅうぎん総合研究所 比嘉 盛樹氏を招き、「沖縄の観光動向について」と題してご講演いただき、意見交換を行いました。



### 参加者の声（アンケートより）

- 県内経済動向・観光動向については、よく理解できた。それらを背景にして、那覇軍港跡地の活用はどう結びつけていくかいくのか、どうつながっていくのか、これからの課題であり、これからの勉強会で議論を深めて欲しい。
- 観光産業をのぼそうとしている沖縄における課題、滞在日数・売上げ等が見えた。
- 沖縄と気候と差のないハワイとの比較は大変良いと思う。
- とても詳しく分析されていて分かり易かった。アウトレットモールやイオンやメインプレイス、平和通りの産業の売上状況、LCC 就航について、もっとくわしく知りたい。



## 第2回勉強会 MICE（マイス）について

第2回勉強会では、株式会社 DMC 沖縄 徳田 博之氏を招き、「MICE（マイス）について」と題してご講演いただき、意見交換を行いました。

### 参加者の声（アンケートより）

- MICE について理解できた。
- 具体的なイメージが出来大変良かった。
- 沖縄における MICE の可能性・重要性についてよく理解できた。大都市と比較したときの沖縄の不利な点も分かった。
- MICE を誘致することによって、経済的効果を始め様々な分野での良い効果が生まれるということが分かり良かった。
- 先進事例として、みなとみらいの都市開発とパシフィコ横浜の例が参考になった。
- 那覇軍港跡地利用の大きなヒントになった。

第2ステージへの移行に向けた合意形成活動達成目標のひとつである「土地活用に関する知識の習得」の達成に向け、今後も継続して勉強会を開催していきます。勉強会にご参加を希望される方は裏面の連絡先までお問い合わせください。

## (仮称) 那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会

那覇軍港が返還され、跡地利用ができるまでにはまだ年月がかかります。現在の地主が次の世代のことも考えて活動していることを引き継ぎ、将来に希望が持てるような跡地利用の実現に向け、地主になる前から将来のまちづくりを考えるため、地主の次の世代が集まり、「(仮称) 那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会」が始まりました。

### 次の世代の懇談会

懇談会では活動内容等について意見交換を行い、次世代の活動が始まりました。

#### 主なご意見

- 軍港の特徴を共有し、それを踏まえて一番良い跡地利用は何かということを考えていかなければいけないと思う。
- まずは現地を見てから始めるべきだと思うが、軍港内の視察は可能なのか。

## 「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」との意見交換会

10年以上前から活動を続けている、普天間飛行場の地権者もしくはその家族から構成される若手の会との意見交換を行い、継続する秘訣を教えてくださいました。



親睦を深め、跡地利用という共通の目標に向かって取り組んでいける人間関係を築くことができたのも継続の理由のひとつ！

自分たちでやりたいことをやるのが大事！

### ギンバル訓練場跡地の視察

跡地に整備された地域医療施設等の内覧会に参加し、金武町役場のご担当者から跡地の概要についてご説明いただき、施設を視察しました。

### 那覇軍港内の視察

懇談会での“まずは現地を見てから始めるべき”とのご意見を踏まえ、米陸軍の許可のもとで那覇軍港内を視察しました。

## 今後の活動

### 第2ステージへの移行に向けて、更なる活動に取り組みます。

来年度は、第2ステージへの移行に向けた合意形成活動達成目標の達成に向けて、合意形成活動全体計画<<見直し版>>の説明会や跡地利用に向けた勉強会・講演会の開催、次世代の会の活動を継続するとともに、発展的な活動を検討してまいります。

「がじゃんびら通信」の内容及び那覇軍港返還に関するお問い合わせ・ご相談は下記までおたずねください。

那覇市 総務部 那覇軍港総合対策室 担当：宇地原、濱川、赤嶺  
TEL：098-861-6906 FAX：098-861-4092  
E-mail: s-heidan001@neo.city.naha.okinawa.jp

